

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 3 月 15 日作成)

小委員会名	「地球の声」デザイン小委員会	主 査 名：塚本由晴 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：伊香賀俊治
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築は地球の資源との関わりなくしては存在しない。都市部にあっても材料、エネルギーなどを通して自然を動員し、多様な事物のネットワークの結節点になっている。20 世紀の間の不断の建設活動は生産性を優先するかたちにこのアクター・ネットワークを漸次組み替え、人々の暮らしを条件づけるまでになった。その条件は産業や経済や政治の事情を含むブラックボックスを多く抱え、資源の有効な活用や自由な運用を妨げていることもある。このブラックボックスを開け、アクター・ネットワークをリデザインし、そうした障壁を下げていくことが建築のデザインにも求められている。そうした試みの集積が、自らは声を上げられない地球の声を「翻訳」することにつながるのではないだろうか? 「地球の声」デザイン小委員会では、上記のような建築デザインの可能性を言語化することで、新しい建築批評言語を開発することを目標とする。</p> <p>2017 年度活動計画 関係分野との連携、海外動向、アクター・ネットワーク理論を理解するための意見交換、シンポジウムの開催。卒業、修士論文への展開。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：塚本由晴 (東工大) 幹事(50 音順)：今村創平 (千葉大)、川島範久 (東工大)、安原幹 (東京理科大) 委員(50 音順)：海野玄陽(竹中工務店)、大野二郎 (日本設計)、川島宏起(竹中工務店)、小見山陽介 (エムロード 環境造形研究所)、金野千恵 (teco.)、末光弘和 (SUEP)、常山未央 (東京理科大)、内藤麻美 (新建築)、能作文徳 (東工大)、平瀬有人 (佐賀大学)、山下博満 (日本設計)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2017 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： https://www.facebook.com/earth.voice.design/

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	10 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	<p>1. 2017/05/31 「暮らしのエコロジー座談会@新建築青山ハウス登壇者：稲垣えみ子、能作文徳、塚本由晴</p> <p>2. 2017/11/14 「環境住宅」拡大委員会@学会『環境住宅』を「地域性」と「倫理」から再考する 登壇者：堀部安嗣、竹内昌義、藤野高志氏、末光弘和</p> <p>3. 2018/01/29 「環境住宅」拡大委員会@北海道大学 建築デザインにおいて『環境を考える』とは? - 北海道における『環境住宅』の実践事例をもとに議論する - 登壇者：五十嵐淳、加藤誠、櫻井百子、照井康穂、堀尾浩</p>
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 関係分野との連携にむけた情報収集 50%</p> <p>2. アクター・ネットワーク理論、エコロジーを理解するための意見交換 70%</p> <p>3. 海外動向 10%</p> <p>4. 大学における卒業論文、修士論文などへの展開 70%</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 議論の枠組みから WG への展開。</p> <p>2. 大学研究室の研究へのさらなる展開。</p> <p>3. アウトプットの具体化 (シンポジウム、展覧会、出版)</p> <p>※2018/04 に「地球の声」デザイン展@学会ギャラリーを開催予定</p>